

2004年度

# 中間決算説明会

<http://www.eneos.co.jp>

2004年11月12日



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

# ＜本日の説明内容＞

1. 04年度上期決算概要
2. 第2次中期経営計画の進捗  
および第3次中期経営計画の方向性

代表取締役社長 渡 文明

# 1. 04年度上期決算概要

# <04年度上期 損益概要>

	03年度上期	04年度上期	増 減
原油価格(\$/Bbl)	26.7	35.2	+8.5
為替レートの(円/\$)	118.6	109.5	▲9.1
原油込内需 燃料油販売数量(万KL)	2,542	2,614	+72
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	19,941	22,577	+2,636
営業利益	185	902	+717
営業外損益	13	38	+25
経常利益 (在庫影響除き)	198 (371)	940 (389)	+742 (+18)
特別損益	14	28	+14
当期利益	102	580	+478

## < 04年度上期 経常利益[在庫影響除き]の増減分析(前年同期比) >

389億円 (前年同期比 + 18億円)

(1)販売数量・マージン・タイムラグ	▲206 億円
(2)コスト削減・効率化	+147
(3)製油所運転停止影響等	+69
(4)石油開発	▲17
(5)営業外損益	+25
<hr/>	
合計(在庫影響除き)	+18 億円

< 在庫影響 + 724億円 (▲173億円 ⇒ 551 億円) >

## 2. 第2次中期経営計画の進捗 および第3次中期経営計画の方向性

# <第2次中計の進捗状況および第3次中計の方向性>

	第 2 次 中 計 進 捗			当初 計画比	
	02年度(末) 〈実績〉	03年度(末) 〈実績〉	04年度(末) 〈見通し〉		
原油価格(\$/Bbl)	26.3	27.8	36.2		
為替レート(円/\$)	122.4	113.4	109.8		
原油込内需 燃料油販売数量(万KL)	5,548	5,542	5,520		
経常利益 (在庫影響除き)	908 (427)	571 (813)	1,900 (1,350)	< +600> < +50>	億円
当期利益	323	▲1,335	1,150	< +500>	
連結ROE	3.5%	—	13.2%	< +6.7%>	
			在庫影響除き 9.6%	< +3.1%>	
コスト削減・効率化	422	227	336	< ▲15>	(単位:億円)
有利子負債残高	10,640	9,460	9,000	< +50>	02~04年度計
設備投資(出来高ベース)	1,485	1,369	1,376	< +630>	(985)

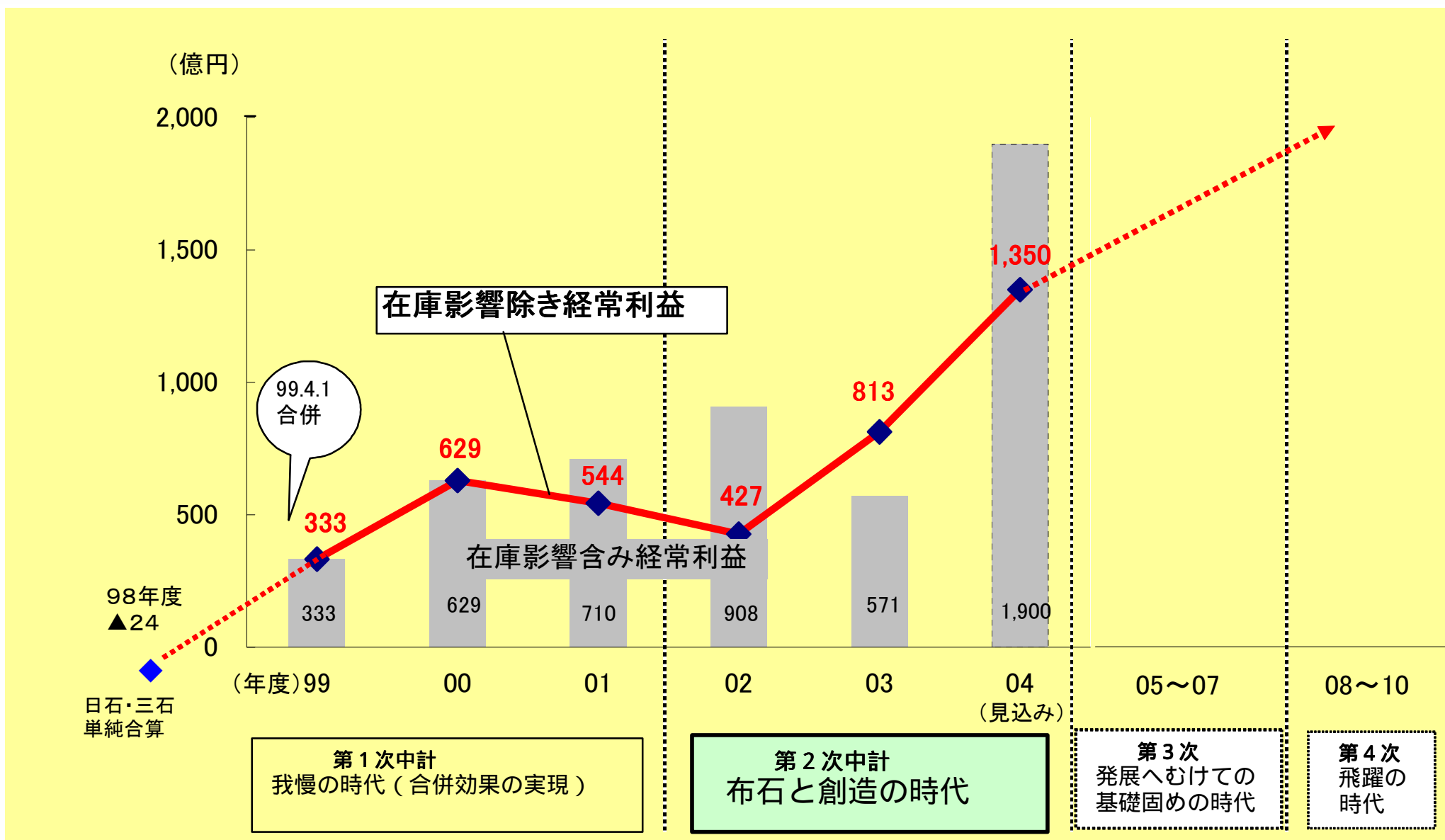
05年3月末発表予定

## 第3次中計(策定中)イメージ

05~07年度	
経常利益	1,400億円 + α
ROE	10%
コスト削減	SCMなどにより、引き続きコスト削減を実現
設備投資	石油開発・石油化学事業への投資を拡大

(単位:億円)	
02~04年度計	当初計画比
(985)	< ▲15>
(▲1,890)	< +50>
(4,230)	< +630>

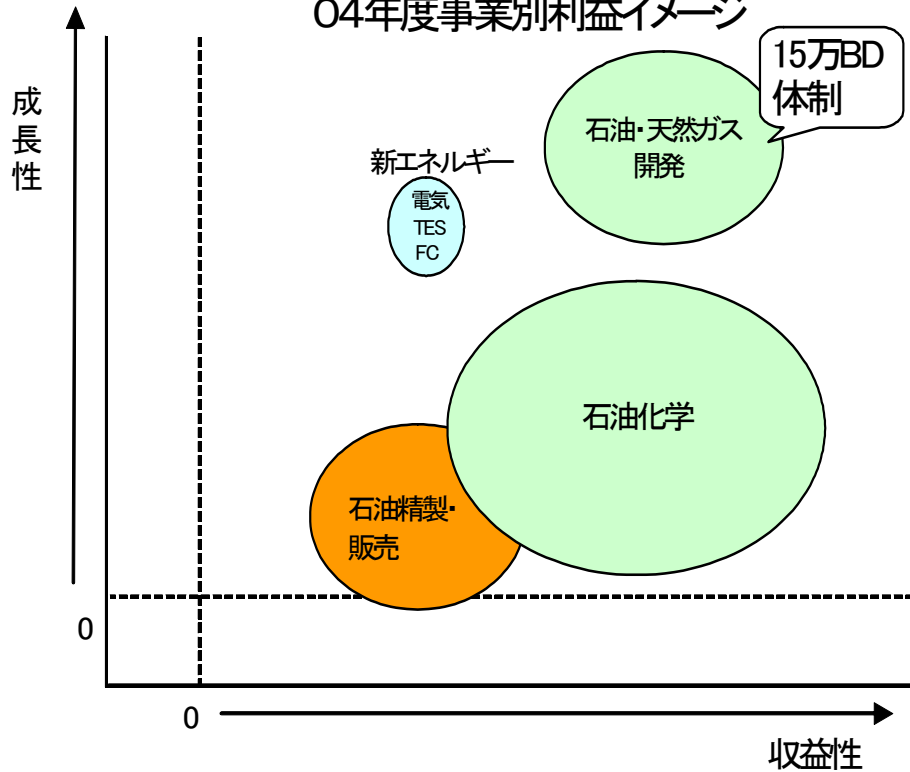
# < 在庫影響除き経常利益の推移 >



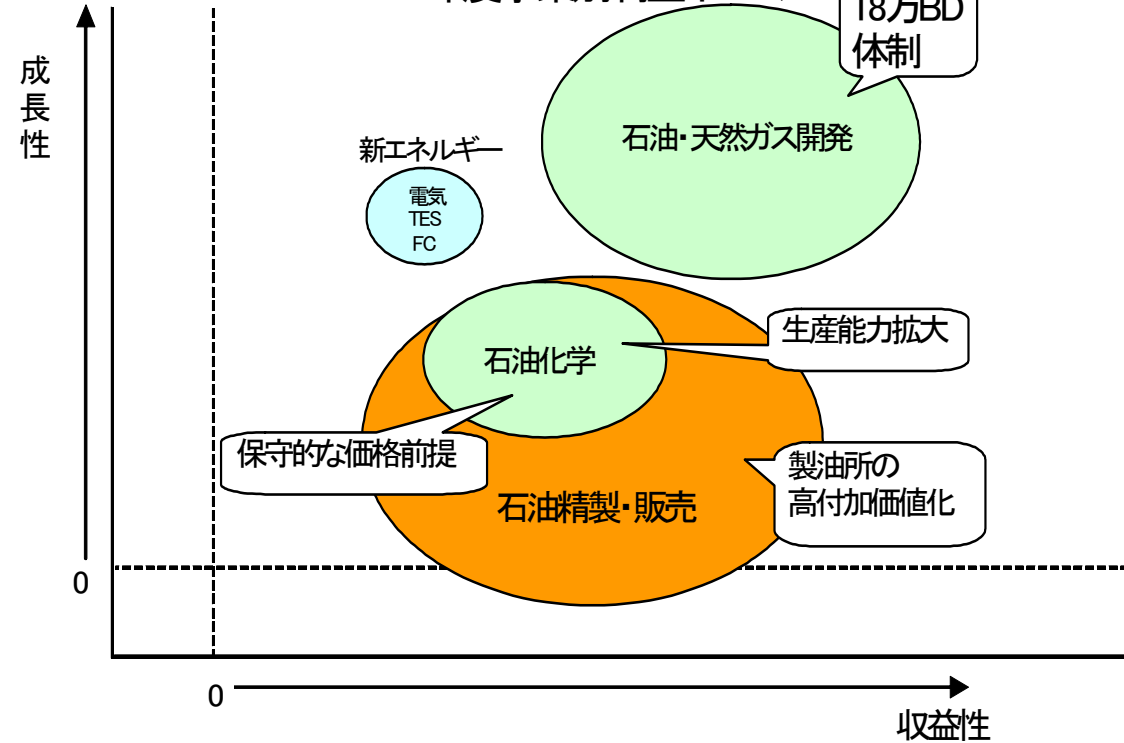


# < 04年度 07年度事業ポートフォリオ >

04年度事業別利益イメージ

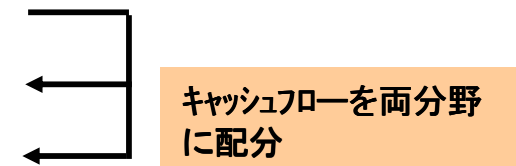


07年度事業別利益イメージ



## 〔事業ポートフォリオ戦略〕

- ・石油精製・販売事業 → 効率性を追求し、キャッシュフローを生み出す分野
- ・石油・天然ガス開発事業、石油化学事業 → 成長性を追求し、拡大する分野
- ・新エネルギー事業(電気・TES\*・FC\*\*) → ニッチ戦略を展開する分野(電気事業)

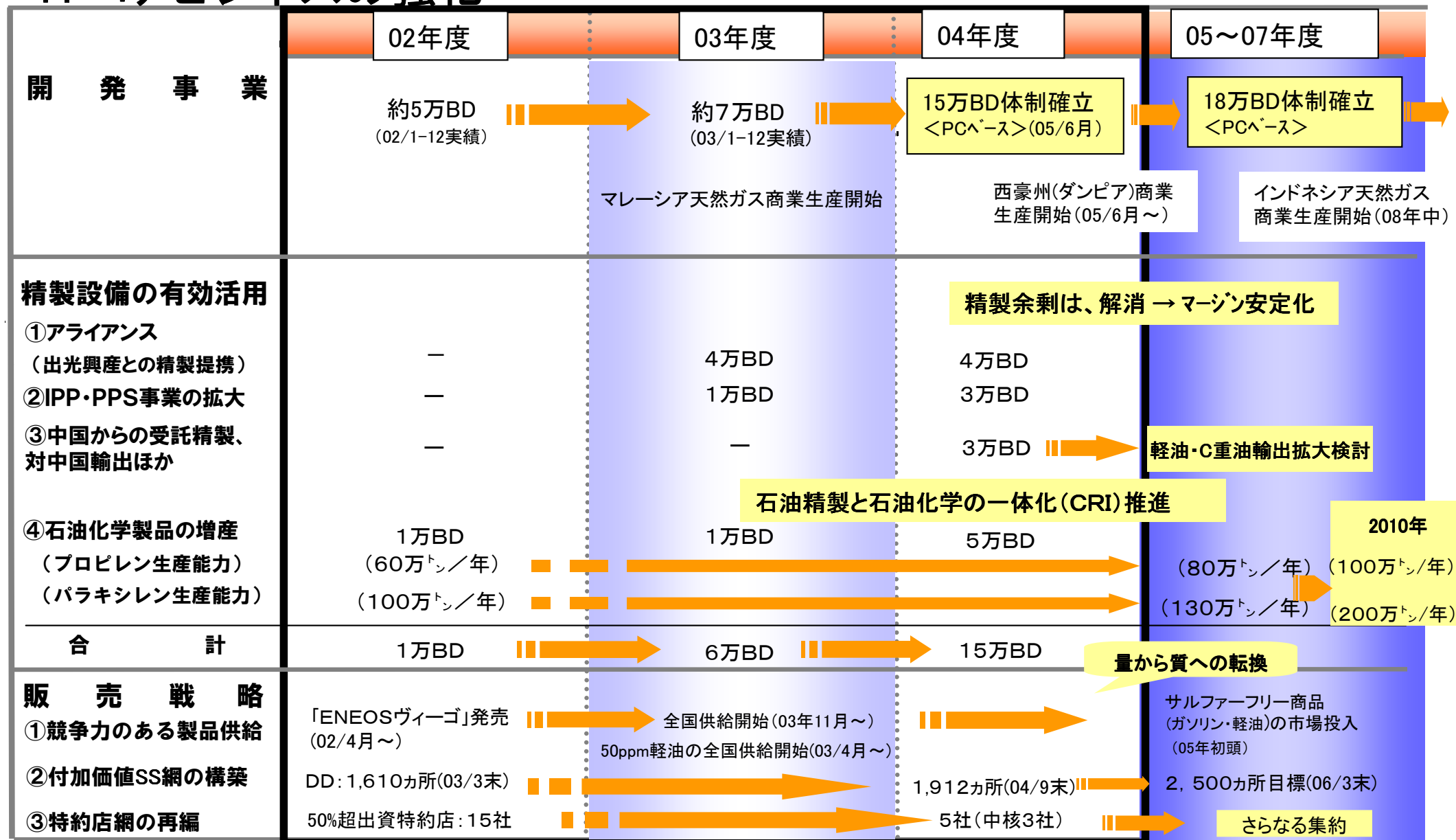


\* TES : Total Energy System、分散型電源

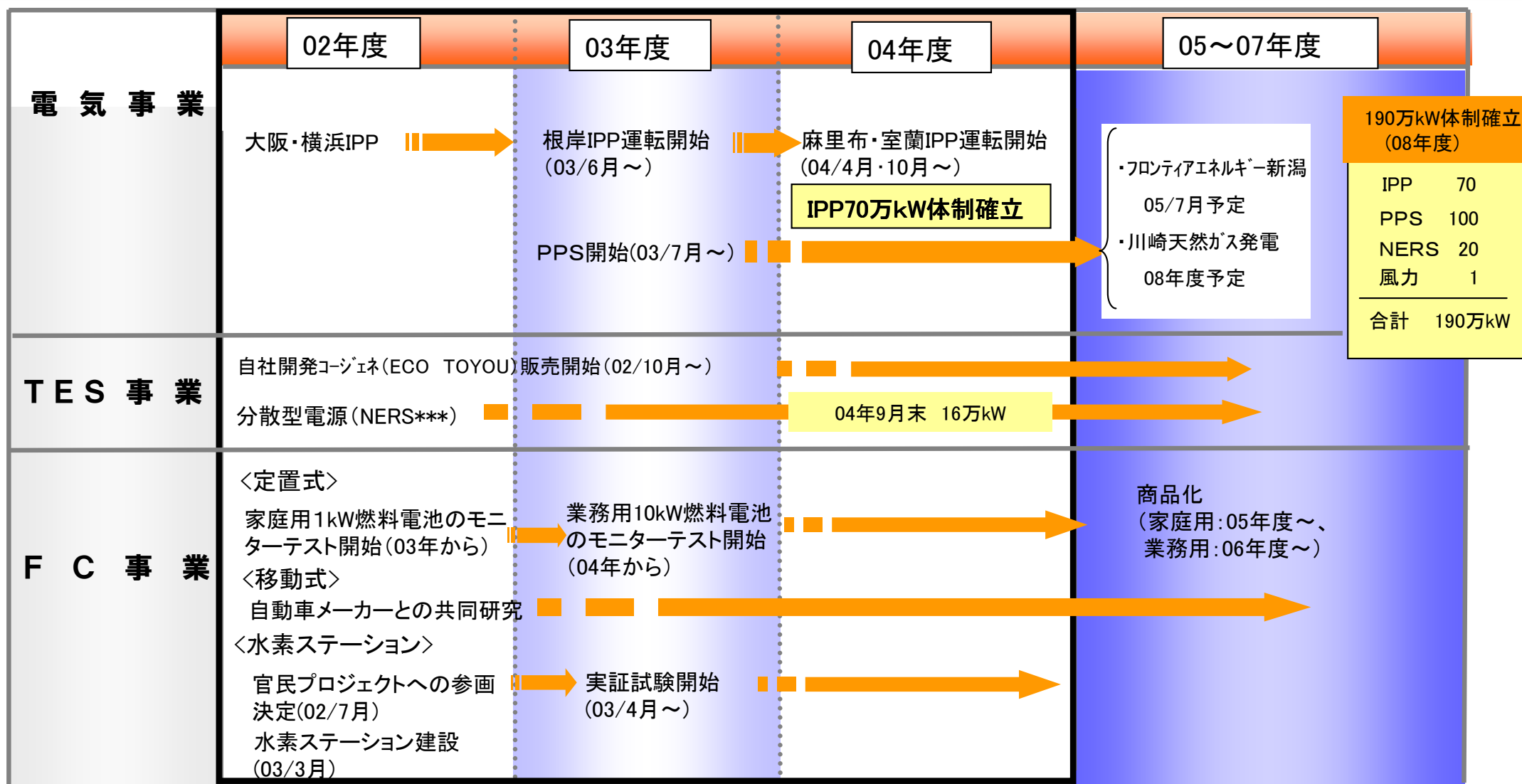
\*\* FC : 燃料電池

# <個別施策の実施状況>

## 1. コアビジネスの強化



## 2. 新エネルギービジネス(電気、TES\*、FC\*\*)の拡大

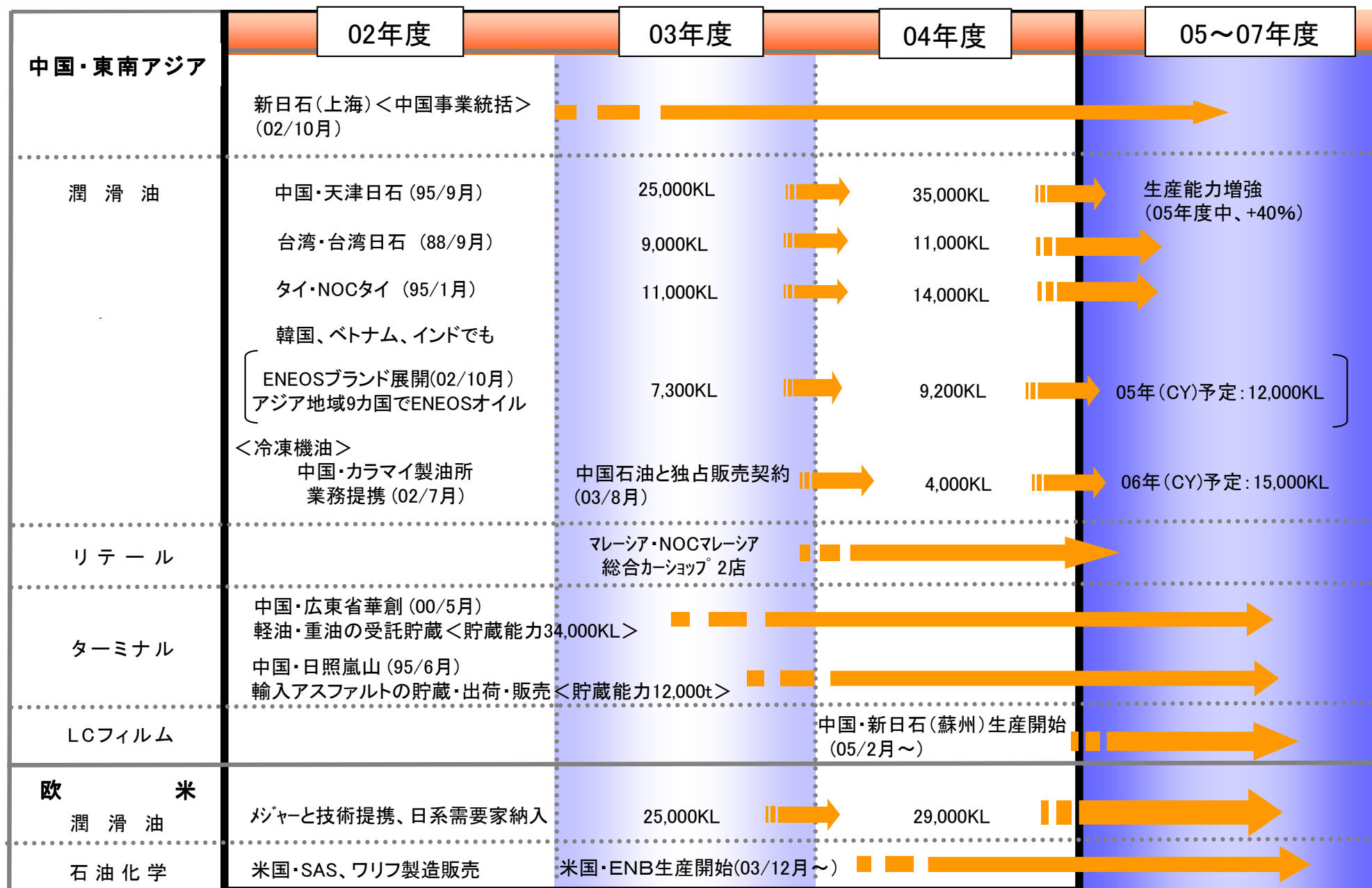


\* TES : Total Energy System、分散型電源

\*\* FC : 燃料電池

\*\*\* NERS : Nippon Oil Energy Retail System お客様の敷地内に弊社の負担でコージェネ設備を置き、この設備から作った電力と熱を比較的安価にお客様にご使用いただく新しいビジネスモデル

### 3. 海外事業への取り組み



# < 参考データ >

## 1. 決算関連データ

( 1 ) 上期決算データ

( 2 ) 年度決算データ

## 2. 第2次中期経営計画進捗関連データ

## 3. 事業関連データ

## 1. 決算関連データ (1) 上期決算データ

### <04年度上期 特別損益の内訳>

(1) 固定資産処分損益 57 億円

(2) 厚生年金基金代行返上益 35

(3) 減損損失・風水害損失ほか ▲64

---

合 計 28 億円

# <04年度上期 セグメント別状況>

## (1) 売上高

(単位:億円)

合 計 22,577 (+2,636)			
石 油 部 門	石油化学部門	工 事 部 門	そ の 他
19,412 (+2,403)	1,555 (+354)	1,264 (▲122)	346 (+1)

→ うち石油・天然ガス開発部門 319(▲37)

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

## (2) 営業利益

(単位:億円)

合 計 902 (+717)			
石 油 部 門	石油化学部門	工 事 部 門	そ の 他
787 (+676)	79 (+43)	▲1 (+3)	37 (▲5)

→ うち石油・天然ガス開発部門133(▲17)

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

# <04年度上期 油種別販売数量(単体)>

	03年度上期	増減率	04年度上期
	万KL	%	万KL
揮 発 油	707	+7.4	759
(ハ イ オ ク)	(139)	(+3.1)	(144)
(レ ギ ュ ラ ー)	(560)	(+8.5)	(608)
ナ フ サ	284	+2.4	291
ジ エ ッ ト	62	▲8.2	57
灯 油	185	+8.3	200
軽 油	418	+3.0	430
A 重 油	344	+6.2	366
C 重 油	432	▲9.2	393
(電 力 C 重 油)	(205)	(▲9.0)	(187)
(一 般 C 重 油)	(227)	(▲9.3)	(206)
内 需 燃 料 油 計	2,432	+2.6	2,496
原 油	110	+7.8	118
原 油 込 内 需 計	2,542	+2.9	2,614
ジ ョ イ ン ト ほ か	1,340	+16.6	1,563
総 計	3,882	+7.6	4,177



# 1. 決算関連データ (2)年度決算データ

## <04年度 損益概要(見通し)>

	03年度	04年度	増 減
原油価格(\$ / Bbl)	27.8	36.2	+ 8.4
為替レート(円 / \$)	113.4	109.8	▲ 3.6
原油达内需 燃料油販売数量(万KL)	5,542	5,520	▲ 22
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	42,798	47,800	+ 5,002
営業利益	559	1,830	+ 1,271
営業外損益	12	70	+ 58
経常利益 (在庫影響除き)	571 (813)	1,900 (1,350)	+ 1,329 (+ 537)
特別損益	▲ 2,068	70	+ 2,138
当期利益	▲ 1,335	1,150	+ 2,485

## <04年度 経常利益[在庫影響除き]の増減分析(前期比)>

1,350億円 (前期比 +537億円)

(1)販売数量・マージン・タイムラグ	▲ 12 億円
(2)コスト削減・効率化	+336
(3)製油所運転停止影響等	+101
(4)石油開発	+54
<hr/>	
営業利益(在庫影響除き)	+479 億円
(5)営業外損益の良化	+58
<hr/>	
経常利益(在庫影響除き)	+537 億円
<在庫影響 +792億円(▲242億円⇒ +550億円)>	

## < 04年度 特別損益の内訳 >

(1) 固定資産処分損益 117 億円

(2) 厚生年金基金代行返上益 35

(3) 減損損失・風水害損失ほか ▲ 82

---

合 計 70 億円

# <04年度 セグメント別状況>

## (1) 売上高

(単位:億円)

合 計 47,800(+5,002)			
石油部門	石油化学部門	工事部門	その他
40,320(+4,256)	3,100(+621)	3,650(+114)	730(+11)

→ うち石油・天然ガス開発部門 682(+66)

※カッコ内は前期比増減を示す。

## (2) 営業利益

(単位:億円)

合 計 1,830(+1,271)			
石油部門	石油化学部門	工事部門	その他
1,510(+1,173)	184(+97)	70(+15)	66(▲14)

→ うち石油・天然ガス開発部門 290(+54)

※カッコ内は前期比増減を示す。

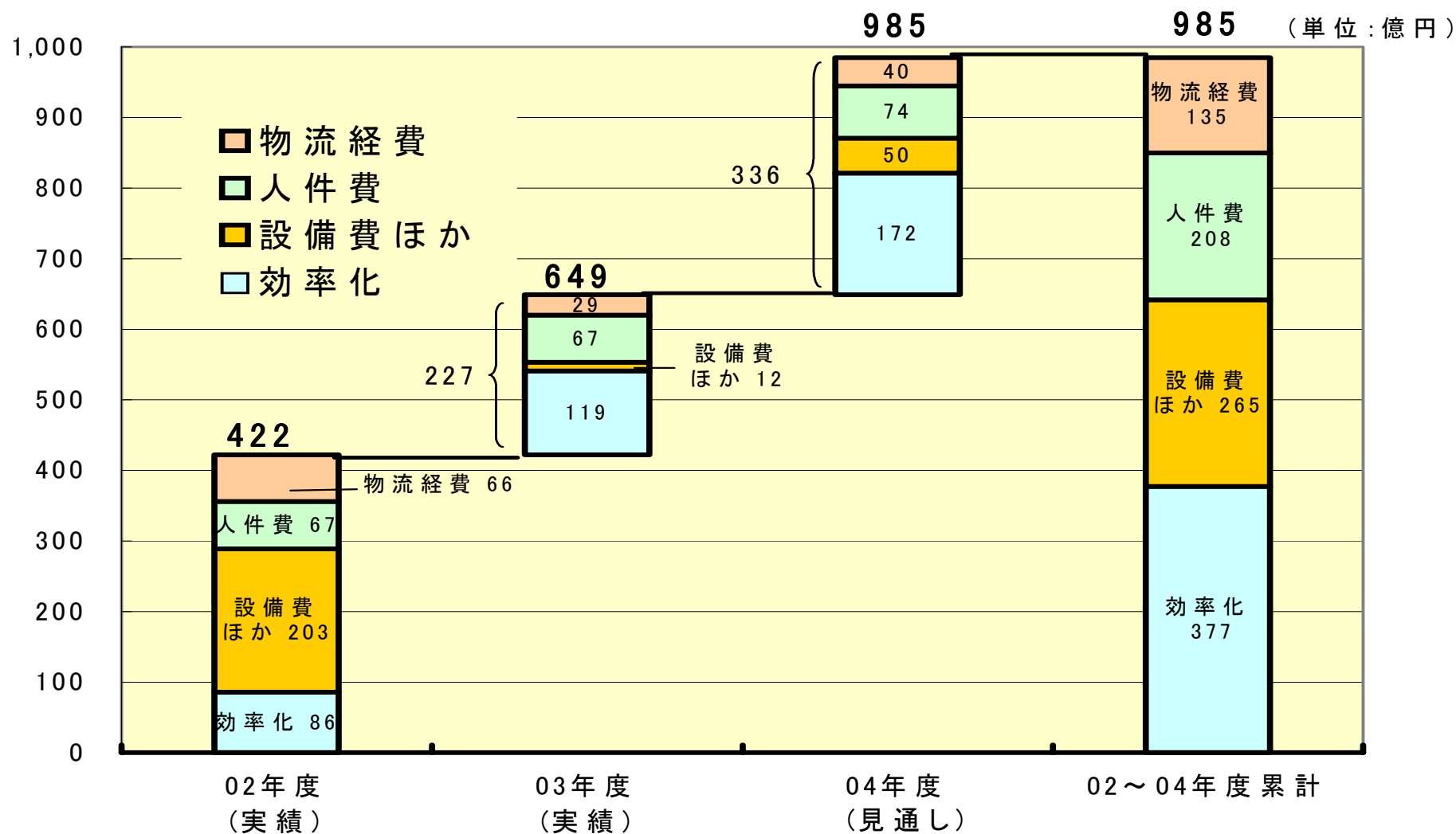
# <04年度 油種別販売数量(単体)>

	03年度実績	増減率	04年度見通し
	万KL	%	万KL
揮 発 油	1,409	+ 4.7	1,475
(ハ イ オ ク)	(276)	(+ 6.2)	(293)
(レ ギ ュ ラ ー)	(1,118)	(+ 4.4)	(1,167)
ナ フ サ	605	+ 5.6	639
ジ エ ツ ト	122	▲ 6.6	114
灯 油	683	+ 7.3	733
軽 油	849	+ 1.1	858
A 重 油	775	+ 9.2	846
C 重 油	887	▲ 20.1	709
(電 力 C 重 油)	(426)	(▲ 33.8)	(282)
(一 般 C 重 油)	(461)	(▲ 7.4)	(427)
内 需 燃 料 油 計	5,330	+ 0.8	5,374
原 油	212	▲ 31.1	146
原 油 込 内 需 計	5,542	▲ 0.4	5,520
ジ ョ イ ン ト ほ か	3,076	+ 1.4	3,120
総 計	8,618	+ 0.3	8,640

## 2. 第2次中期経営計画進捗関連データ

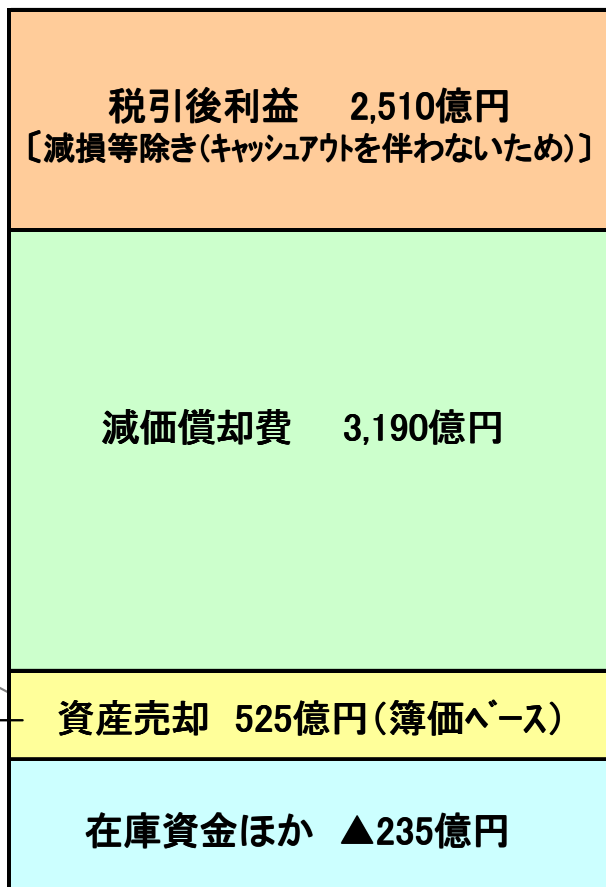
### < コスト削減・効率化 >

見通し 985億円／3カ年 ⇒ 目標(1,000億円／3カ年)をほぼ達成



# < キャッシュフローの創出と配分 >

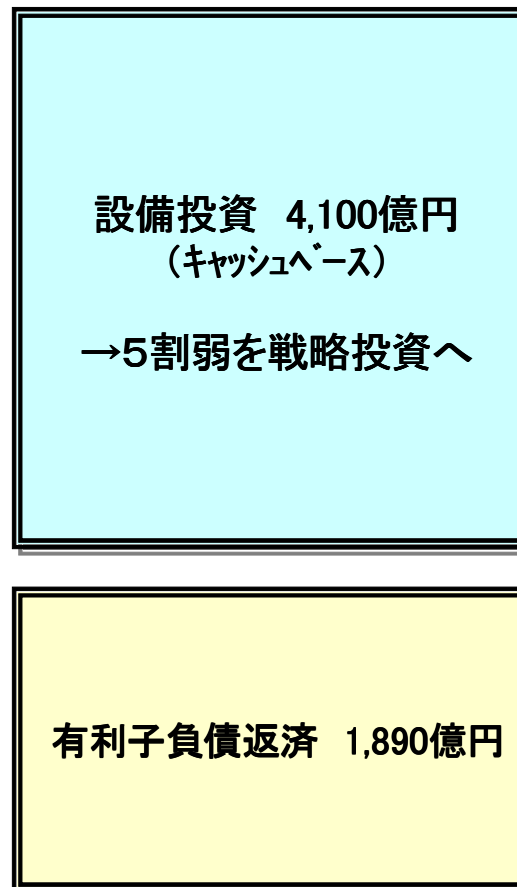
< キャッシュインフロー 5,990億円 / 3カ年 >



資産効率向上

時価ベース940億円(02年度 270億円、03年度 320億円、04年度 350億円)

< キャッシュアウトフロー 5,990億円 / 3カ年 >



採算性を重視した  
投資

資産効率向上

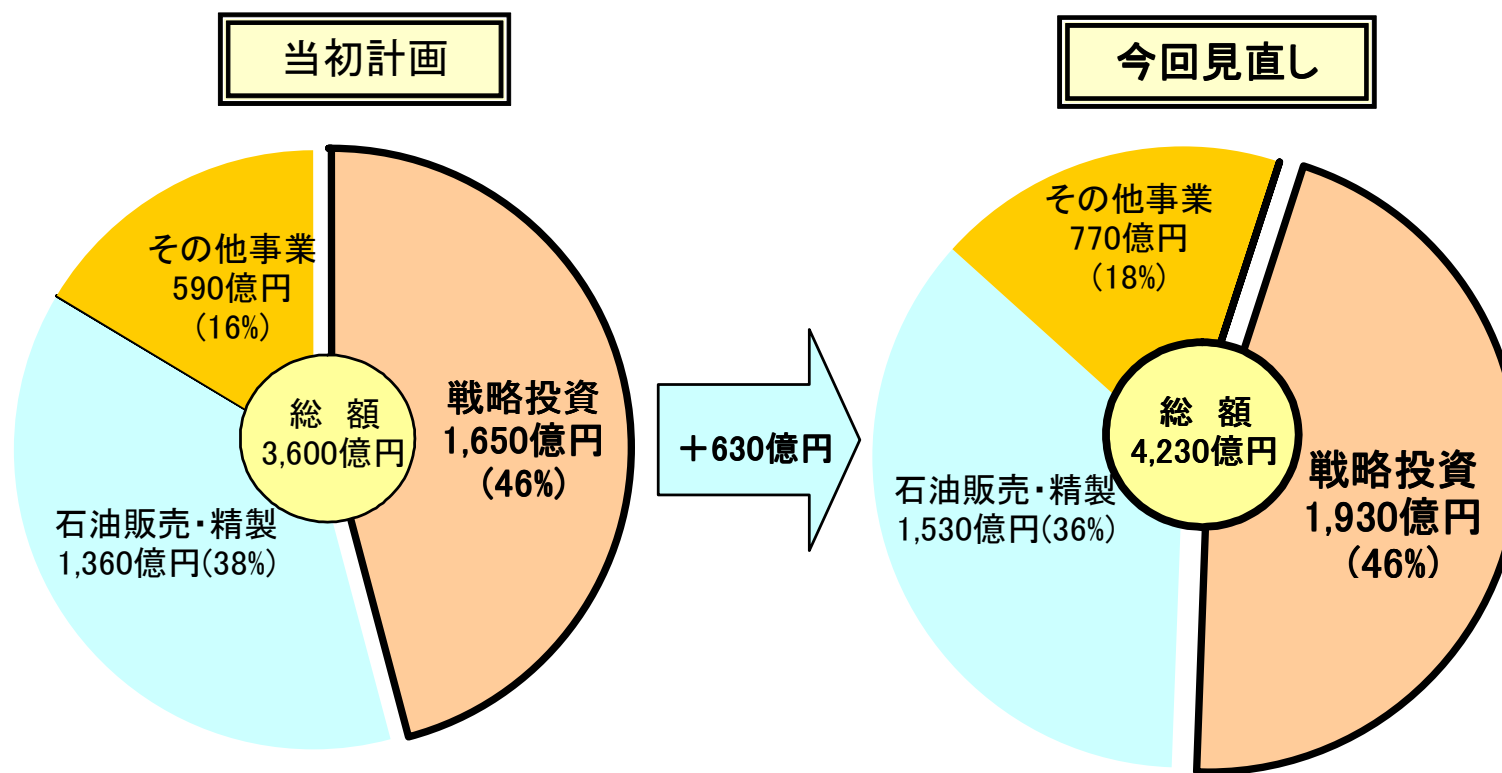
戦略分野に重点投資  
成長性の確保

財務体質強化

# < 設備投資の状況 >

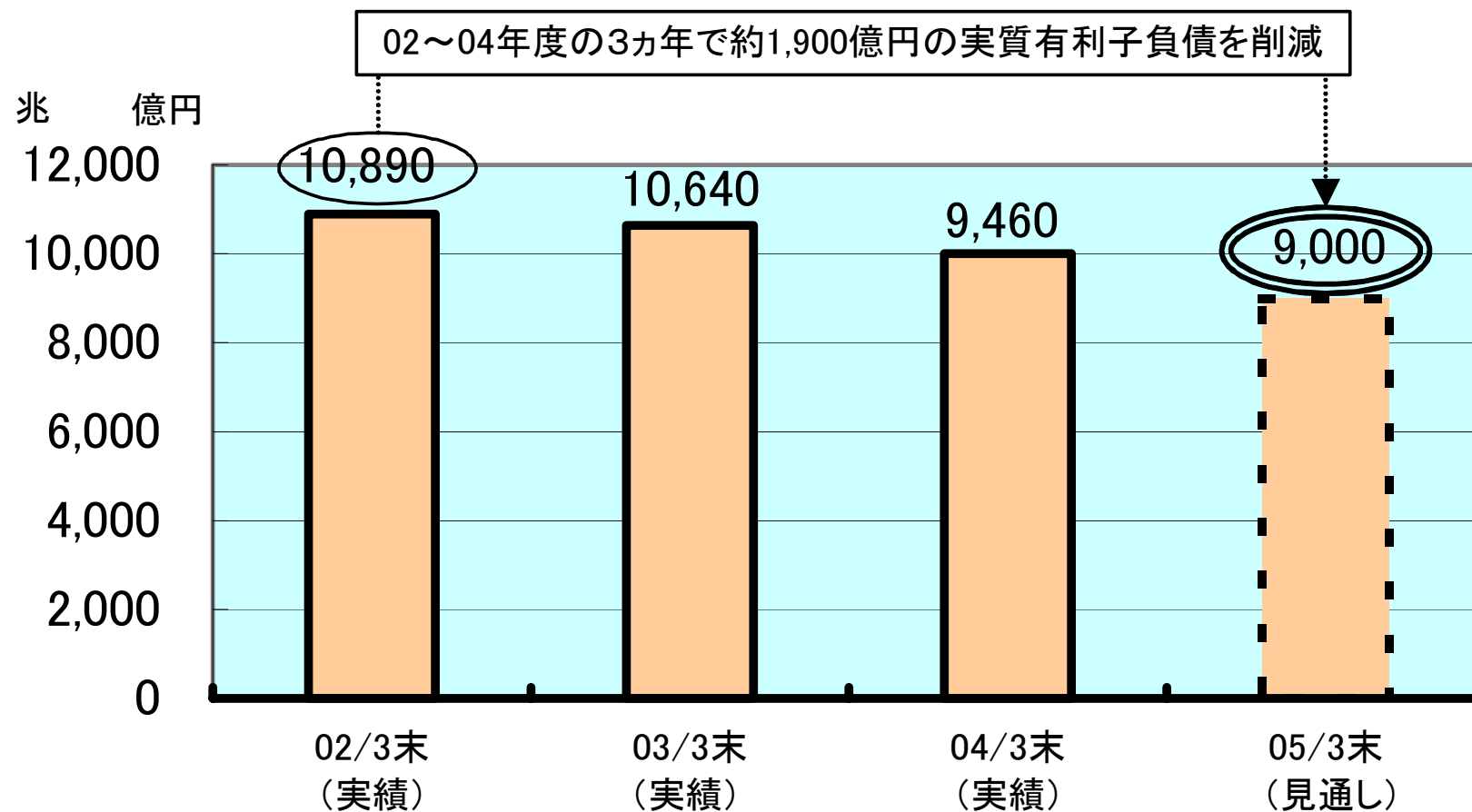
選択と集中、成長性の確保 ⇒ 戦略分野に重点投資

## 02～04年度の設備投資額内訳(出来高ベース)





# < 有利子負債の削減 >



注: 海外金融子会社の両建運用にかかる負債を除く。

# <セグメント別状況>

## セグメント別状況(売上高・営業利益)

(単位:億円)

部 門	売 上 高			営 業 利 益		
	02年度	03年度	04年度(見通し)	02年度	03年度	04年度(見通し)
石 油	35,996	36,064	40,320	729	337	1,510
(うち石油・天然ガス開発)	(458)	(616)	(682)	(151)	(236)	(290)
石 油 化 学	2,199	2,479	3,100	57	87	184
工 事	3,040	3,536	3,650	80	55	70
そ の 他	639	719	730	100	80	66
計	41,874	42,798	47,800	966	559	1,830

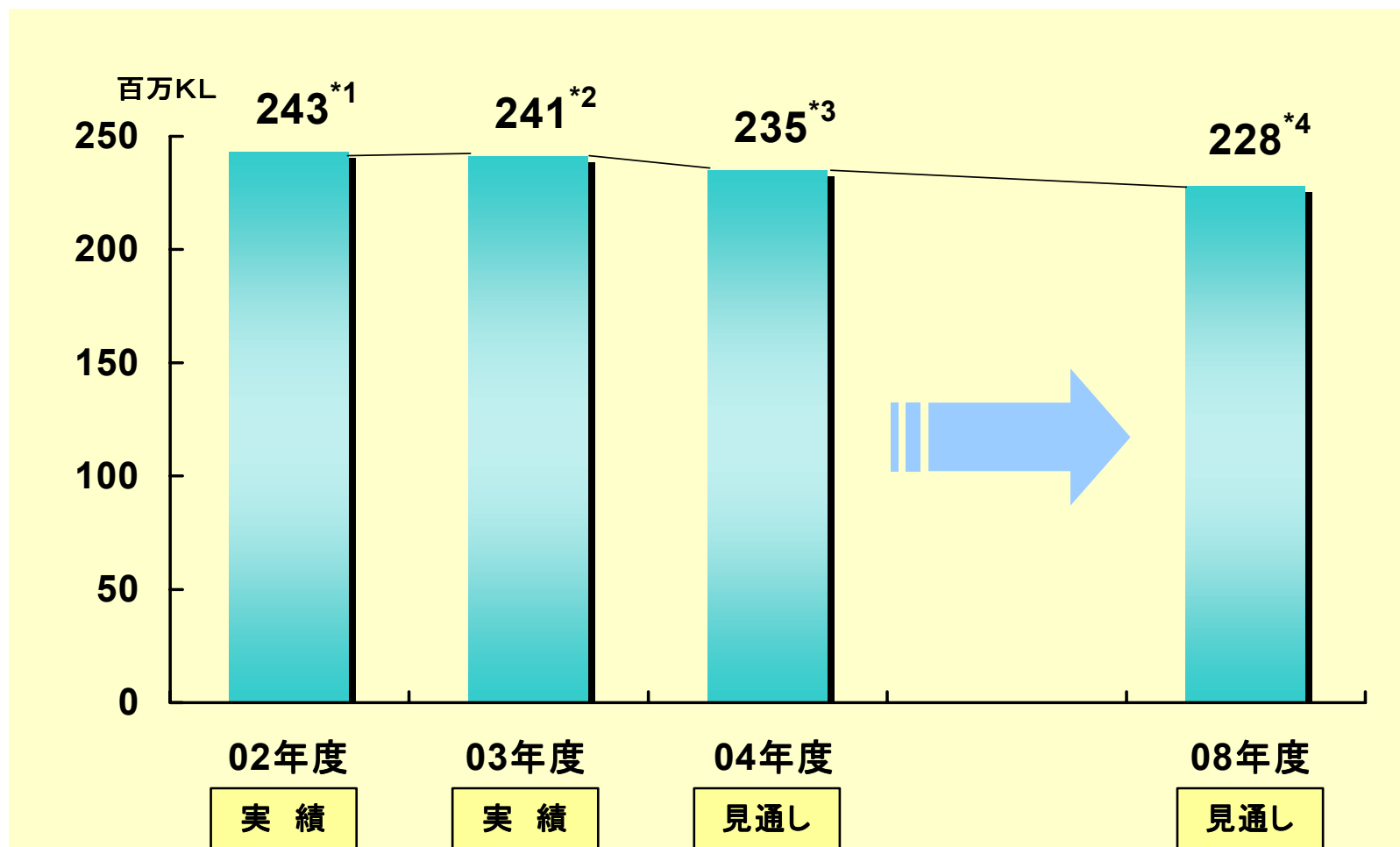
## セグメント別状況(設備投資・減価償却費)

(単位:億円)

部 門	設 備 投 資			減 価 償 却 費		
	02年度	03年度	04年度(見通し)	02年度	03年度	04年度(見通し)
石 油	1,217	1,078	1,116	816	877	923
石 油 化 学	73	105	111	61	68	78
工 事	130	74	84	52	54	48
そ の 他	65	112	65	65	71	76
計	1,485	1,369	1,376	994	1,070	1,125

### 3. 事業関連データ

## <燃料油需要見通し>



\*1 約420万BD \*2 約415万BD \*3 約405万BD \*4 約395万BD

出所: 資源エネルギー庁

# <燃料油需要見通し(油種別)>

(単位:千KL)

油種	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
	実績		04年度/03年度 [+0.4%]	見通し			08年度/03年度 [+2.0%]
揮発油	59,830	60,565	60,835	61,146	61,368	61,633	61,786
			[-0.4%]				[-2.5%]
ナフサ	48,598	48,655	48,460	47,491	47,461	47,338	47,447
			[+2.0%]				[+4.2%]
ジェット	4,603	4,502	4,590	4,620	4,647	4,681	4,689
			[+1.8%]				[+0.8%]
灯油	30,622	29,053	29,588	29,490	29,427	29,468	29,285
			[-3.6%]				[-14.3%]
軽油	39,489	38,137	36,753	35,711	34,699	33,707	32,694
			[+1.8%]				[+1.6%]
A重油	30,138	29,751	30,299	30,333	30,326	30,279	30,233
			[-19.0%]				[-27.2%]
C重油	29,517	30,195	24,456	22,916	21,938	21,849	21,978
			[-41.9%]				[-54.3%]
(電力用)	(10,843)	(12,455)	(7,241)	(5,839)	(5,140)	(5,317)	(5,695)
			[-3.0%]				[-8.2%]
(一般用)	(18,674)	(17,740)	(17,215)	(17,077)	(16,798)	(16,532)	(16,283)
			[-2.4%]				[-5.3%]
合計	242,797	240,858	234,981	231,707	229,866	228,955	228,112

出所:資源エネルギー庁

# ＜精製能力およびトッパ―稼働率の推移＞

	合 併 (単位：百万BD)						
	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度
新日石グループ <sup>*1</sup>	1.35 (77% <sup>*2</sup> )	1.35 (75%)	1.35 (80%)	1.37 (78%)	1.35 (74%)	1.35 (76%)	1.23 (81%)
全 国	5.27 (79% <sup>*2</sup> )	5.27 (79%)	5.32 (81%)	5.37 (78%)	5.35 (77%)	5.27 (79%)	4.97 (81%)
	2002年度			2003年度			2004年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期
新日石グループ	1.23 (77% <sup>*2</sup> )	1.22 (91%)	1.22 (84%)	1.22 (79%)	1.27 (88%)	1.27 (83%)	1.22 (83%)
全 国	4.97 (75% <sup>*2</sup> )	4.98 (88%)	4.98 (81%)	4.92 <sup>*3</sup> (80%)	4.89 <sup>*4</sup> (86%)	4.89 (83%)	4.77 <sup>*5</sup> (80%)

註：1. 1998年度までは、旧日本石油および旧三菱石油の合算ベース。

2. 括弧内の数値は各年度における平均値。

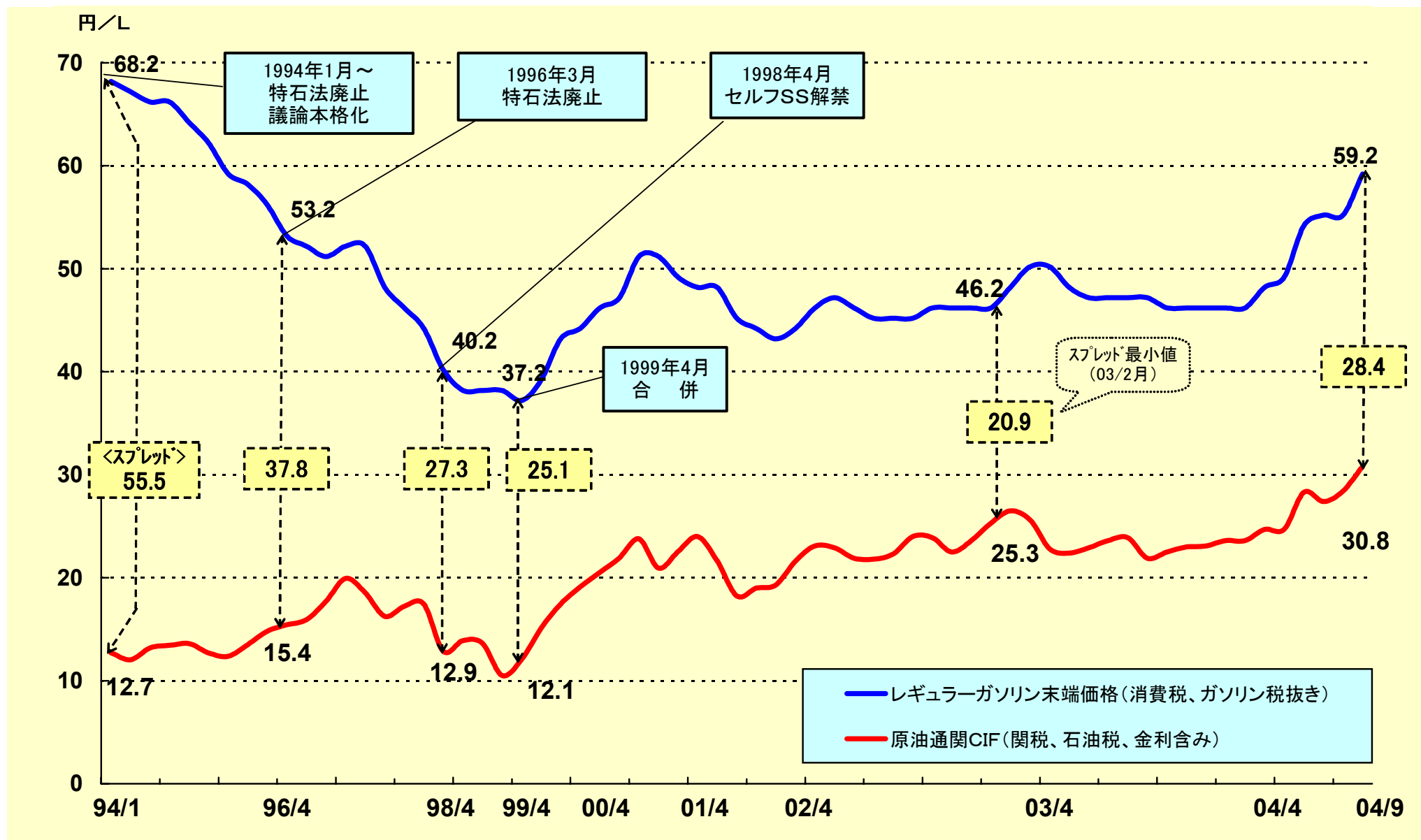
3. 原油処理停止（出光興産兵庫製油所：2003年4月）

4. 原油処理停止（出光興産グループ沖縄製油所：2003年11月）

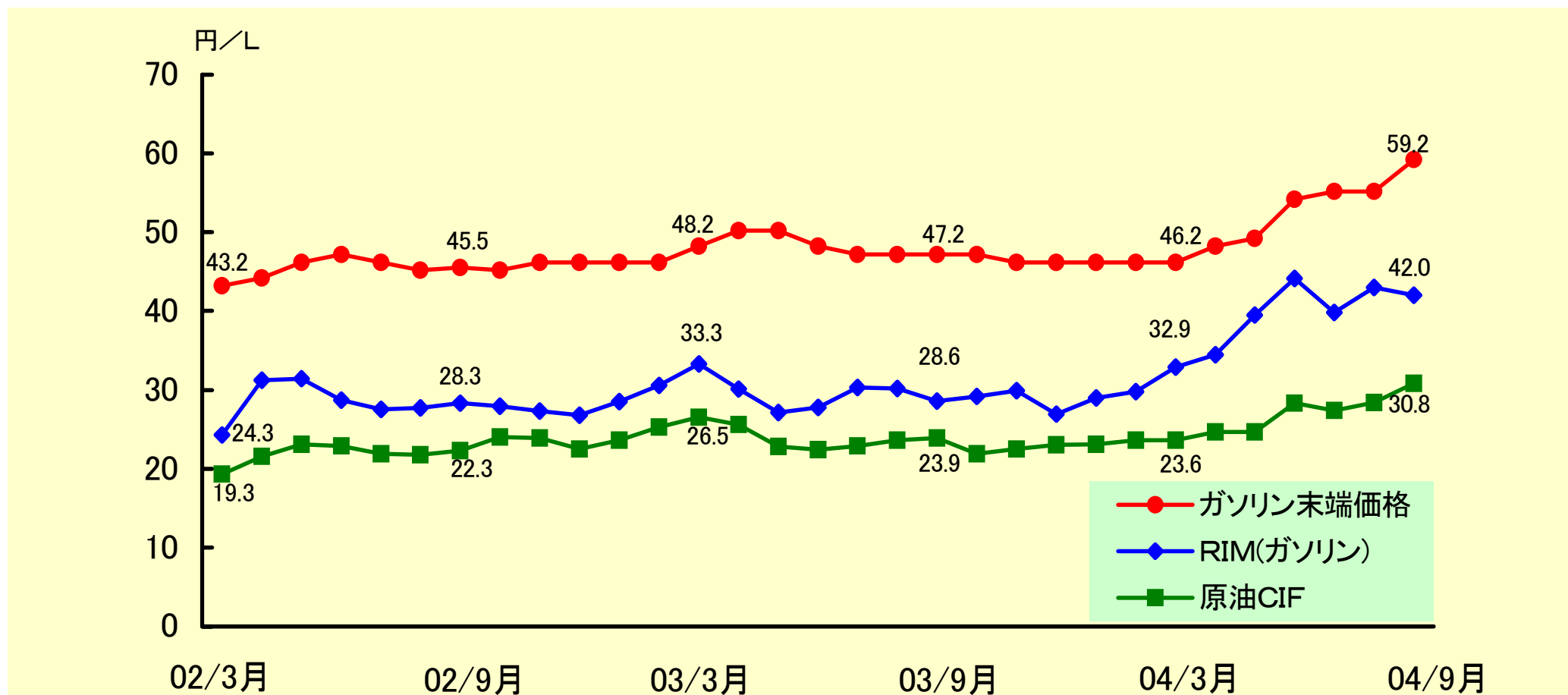
5. 原油処理停止（出光興産グループ東邦石油：2004年4月）、原油処理の一部停止（新日本石油根岸製油所：2004年4月、昭和シェル石油グループ昭和四日市石油：2004年6月）

出所：経済産業省、石油連盟ほか

# <スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移>



# <ガソリン末端価格・RIM(ガソリン)・原油CIFの推移>



註: 1.ガソリンSS末端価格:石油情報センター調査(消費税・ガソリン税 53.8円/L除き)

2.RIMガソリン(ガソリン税 53.8円/L除き)

3.原油CIF:通関統計ベース(関税・石油税・金利込み)

## <販売シェア(白油4品・消費ベース)>

(%)

油種	合併					
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度 上期
揮発油	23.2	22.9	22.8	23.2	23.3	24.3
灯油	22.3	22.4	23.0	23.6	23.5	27.0
軽油	22.4	22.1	21.7	22.4	22.3	22.8
A重油	21.5	22.1	22.5	24.1	26.1	28.0
4品計	22.5	22.4	22.5	23.2	23.6	24.9

出所:資源エネルギー庁



# <燃料油内需・当社販売・販売シェア>

(単位: %)

油種	燃料油内需 (04年度上期/前年同期比)	当社販売 (04年度上期/前年同期比)	販売シェア(消費ベース)		
			02年度	03年度	04年度上期
燃料油計	▲0.7	+2.6	21.9	22.2	22.7
(揮発油)	(+2.4)	(+7.4)	(23.2)	(23.3)	(24.3)
(灯油)	(▲4.3)	(+8.3)	(23.6)	(23.5)	(27.0)
(軽油)	(+0.5)	(+3.0)	(22.4)	(22.3)	(22.8)
(A重油)	(▲0.8)	(+6.2)	(24.1)	(26.1)	(28.0)
(C重油)	(▲11.6)	(▲9.2)	(29.9)	(29.4)	(29.5)

出所: 資源エネルギー庁

# <固定式SS数>

	特石法廃止				合併					1995年度 2003年度	2004年9月
	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度		
新日本石油 <sup>*1</sup>	14,895	14,690	14,283	13,739	13,162	12,669	11,987	11,694	11,333	76.1%	11,171
E M G K <sup>*2</sup>	9,283	9,276	8,893	8,459	8,101	7,898	7,597	7,278	6,904	74.4%	6,778
出光興産	9,037	8,879	7,706	7,032	6,493	6,114	5,896	5,624	5,508	60.9%	5,454
昭和シェル	7,091	6,937	6,728	6,229	5,962	5,642	5,402	5,153	4,968	70.1%	4,876
コスモ	6,857	6,802	6,573	6,278	5,916	5,600	5,373	5,152	4,926	71.8%	4,825
Jエナジー	6,384	6,232	6,079	5,217	4,952	4,646	4,476	4,296	4,150	65.0%	4,106
その他元売 <sup>*3</sup>	2,314	2,510	2,418	2,300	2,128	1,916	1,733	1,642	1,593	68.8%	1,552
元売計	55,861 (96.9%)	55,326 (96.4%)	52,680 (93.8%)	49,254 (90.4%)	46,714 (87.6%)	44,485 (85.6%)	42,464 (83.4%)	40,839 (82.3%)	39,382 (80.4%)	70.5%	38,762 (-)
P B ほか	1,792 (3.1%)	2,079 (3.6%)	3,469 (6.2%)	5,236 (9.6%)	6,593 (12.4%)	7,472 (14.4%)	8,436 <sup>*4</sup> (16.6%)	8,761 <sup>*4</sup> (17.7%)	9,618 <sup>*4</sup> (19.6%)	536.7%	- -
合計	57,653	57,405	56,149	54,490	53,307	51,957	50,900 <sup>*4</sup>	49,600 <sup>*4</sup>	49,000 <sup>*4</sup>	85.0%	-

註: 1. 1998年度までは、旧日本石油および旧三菱石油の合算ベース。

2. エッソ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算ベース。

3. 九石、太陽、三井の合算ベース。

4. 当社推定

出所: 石油情報センターほか

## <社有SS数>

	合 併					
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年9月
新日本石油	3,053	2,945	2,857	2,746	2,607	2,551

## <セルフSS数>

	合 併					
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年9月
新日本石油	21	54	142	342	520	603
全 国	191	422	1,353	2,522	3,423	3,232 <sup>*1</sup>

註:1.元売系列のセルフSSのみ  
出所:石油情報センター

## <Dr. Drive数>

	合 併					
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年9月
新日本石油	44	390	1,283	1,610	1,871	1,912

## <油槽所数>

	合 併							見通し
	1999年4月	2000年4月	2001年4月	2002年4月	2003年4月	2004年4月	2005年4月	
新日本石油	109	93	75	62	55	51	50	

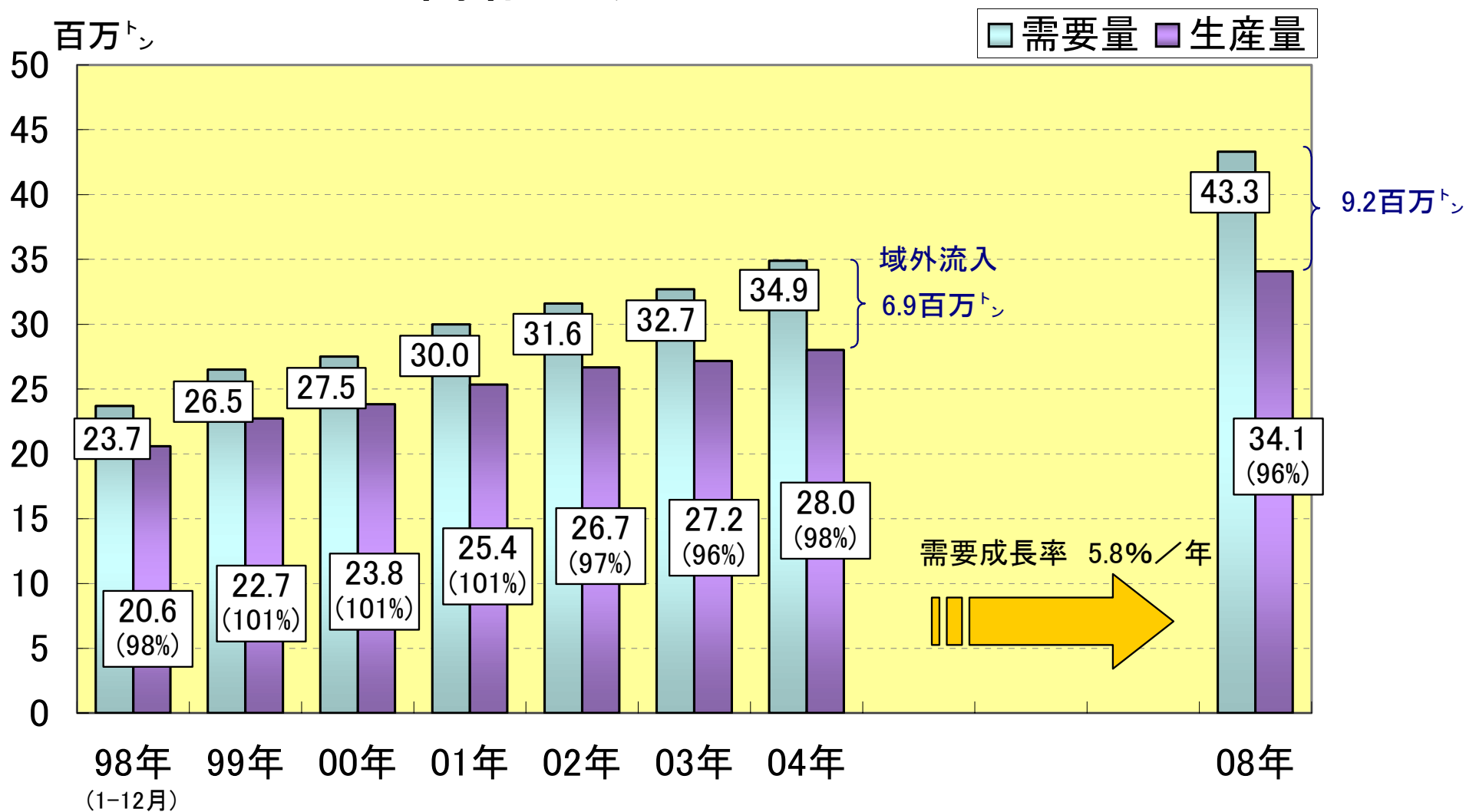
## <従業員数>

	合 併						
	1999年3月	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2004年9月
新日本石油グループ	15,964	15,570	14,895	14,368	13,882	14,347*2	13,586
(うち新日石・新日精)	(5,163)	(4,602)	(4,290)	(4,108)	(4,990)*1	(4,920)	(4,509)

註: 1.旧日石三菱精製、旧東北石油、旧興亜石油の合併(02/4)により、人員が増加している。

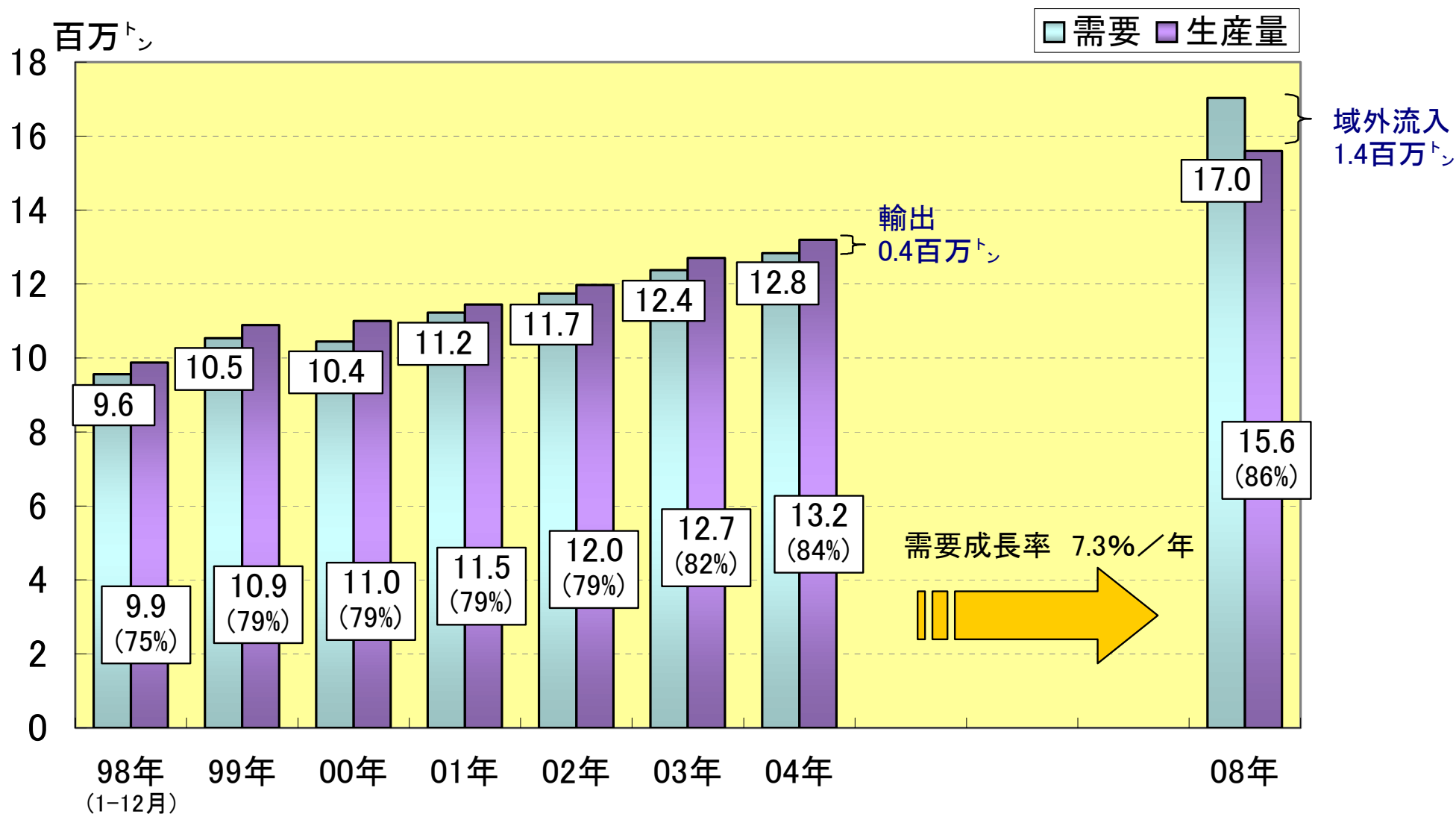
2.大日本土木の新規連結の影響により、人員が増加している。

# ＜アジアのエチレン需給バランス＞



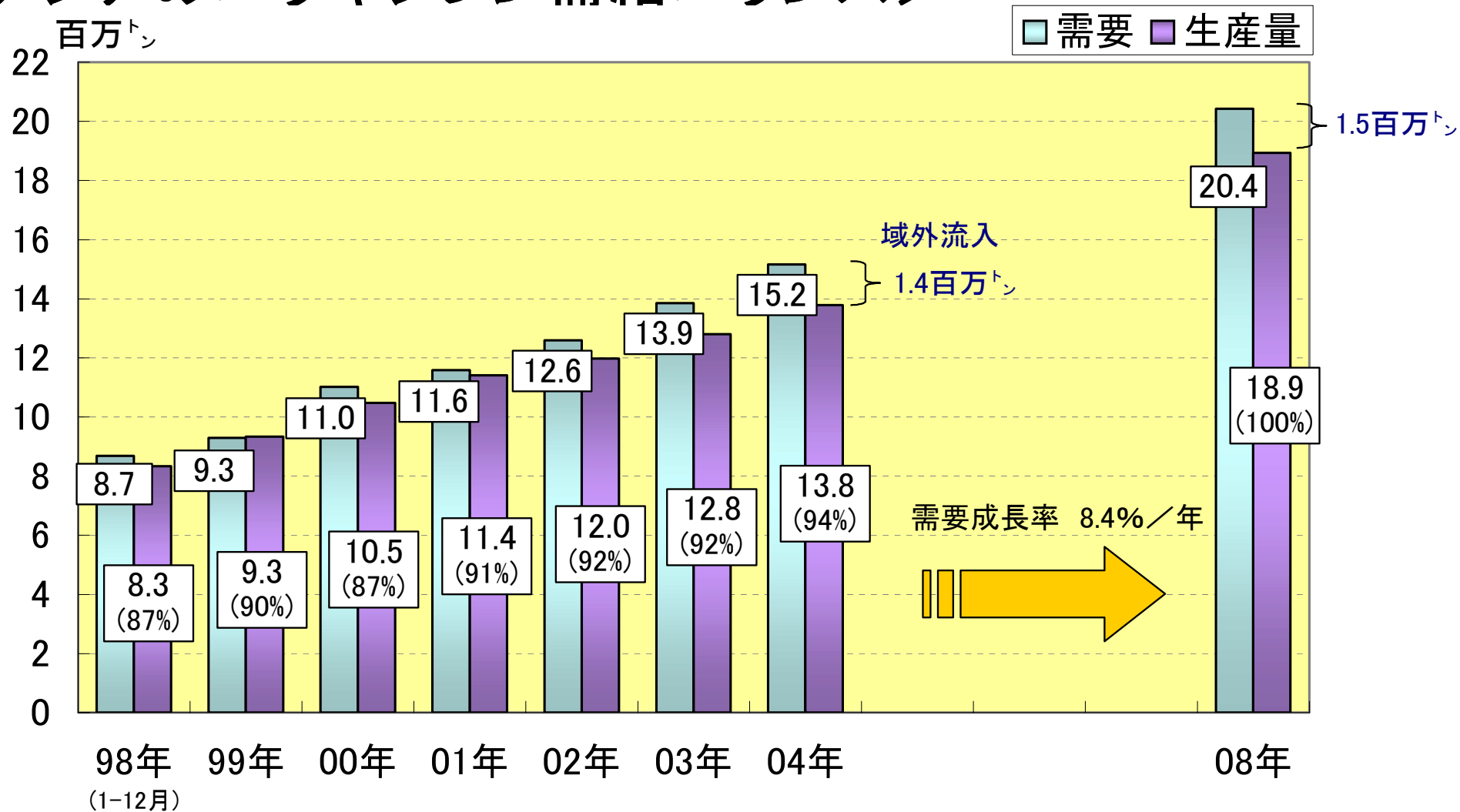
註: 1.生産量数値の下の括弧書は、稼働率を表す。  
2.数値は、当社推計値

# <アジアのベンゼン需給バランス>



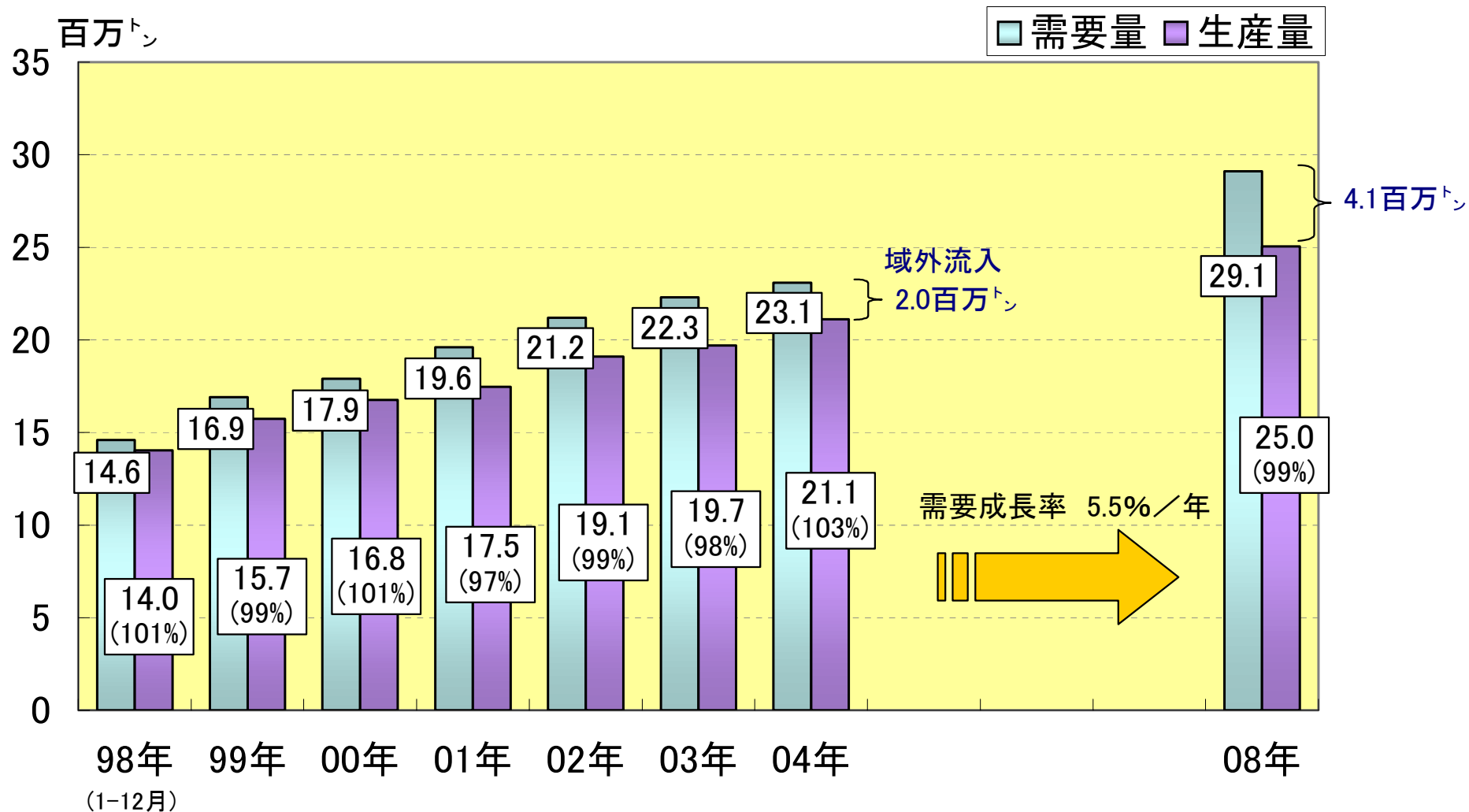
注: 1.生産量数値の下の括弧書は、稼働率を表す。  
2.数値は、当社推計値

# <アジアのパラキシレン需給バランス>



注: 1. 生産量数値の下の括弧書は、稼働率を表す。  
2. 数値は、当社推計値

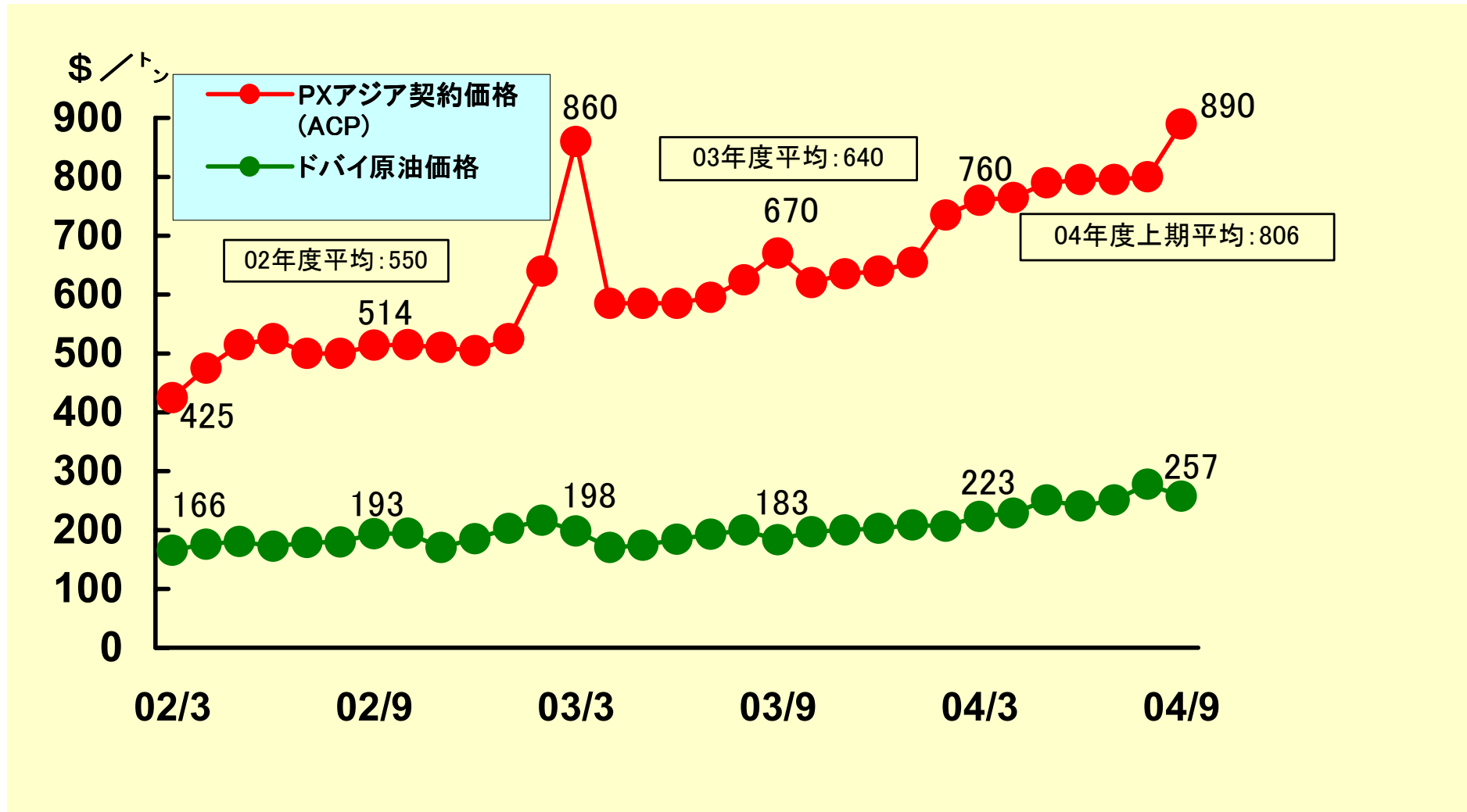
# ＜アジアのプロピレン需給バランス＞



注: 1. 生産量数値の下の括弧書は、稼働率を表す。  
2. 数値は、当社推計値



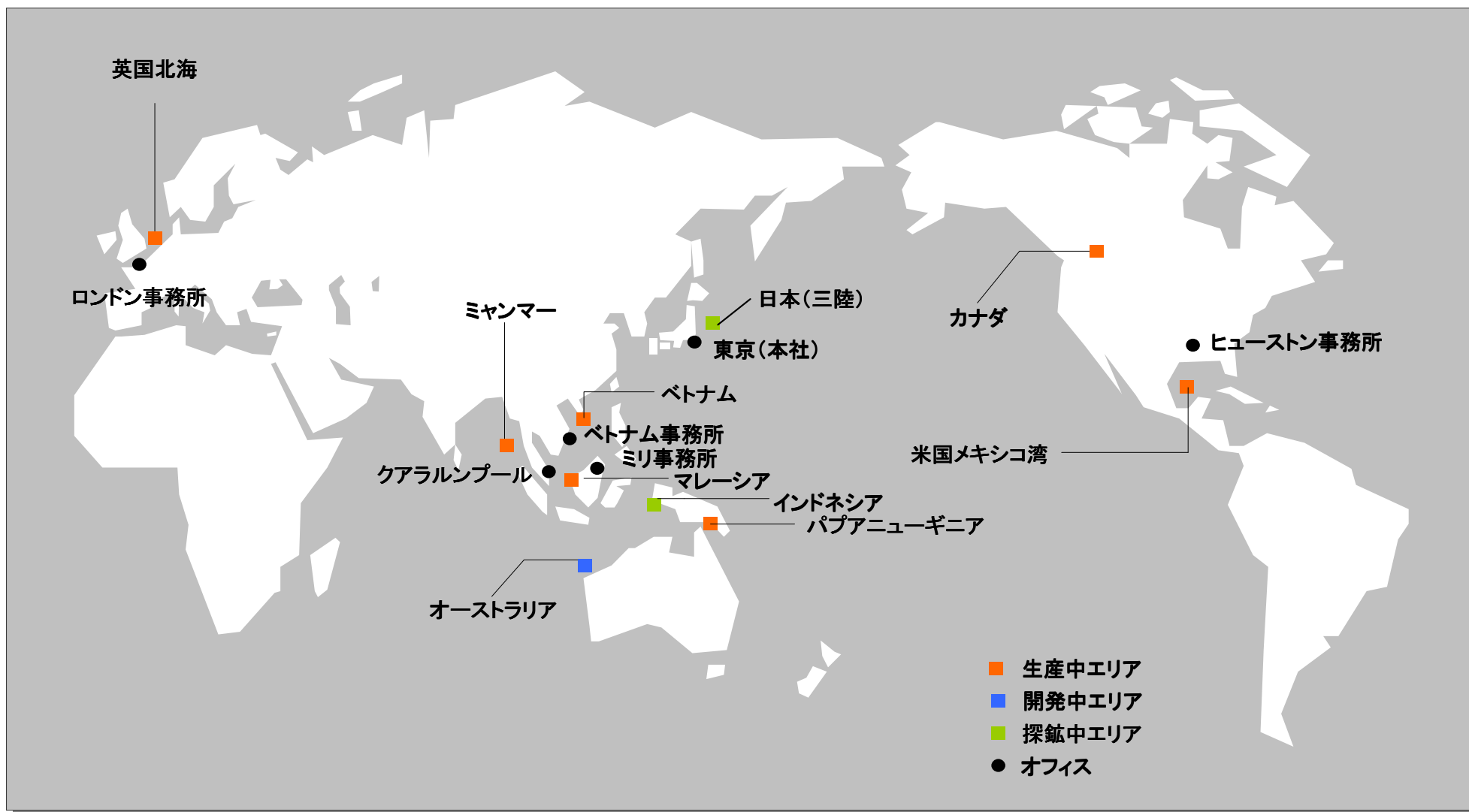
# ＜パラキシレン(PX)価格、ドバイ原油価格の推移＞



# ＜主な海外拠点＞



# <主な石油開発プロジェクト>



## < 主な石油開発プロジェクトの概要 > (2004年1-9月実績平均)

プロジェクト/会社*1	油田・ガス田名	総生産量 (BD)	権益原油 (BD)		埋蔵量*2(100万Bbl) PCベース	
			PCベース	当社持分ベース		
<b>&lt; USA &gt;</b>						
米国メキシコ湾						
NOEX U.S.A.	オーチャートノース、フォーダム、 ウァーゴ、アコンカグアほか	42,400	7,500	7,500	14	
<b>&lt; UK &gt;</b>						
英国北海						
日本ノースシー石油	アントリユー、ムンゴ、モナン、ピアス	115,500	6,600	3,300	42	
NOEX Production U.K.	マグナス、ブレイ	172,300	10,500	10,500		
<b>&lt; 東南アジア &gt;</b>						
ベトナム						
日本ベトナム石油	ランドン	50,100	18,300	9,700	496	
ミャンマー						
日石ミャンマー	イェタクン	54,400	7,300	3,700		
マレーシア*3						
日石マレーシア	ヘラン	51,600	30,500	12,200		
日石サラワク	セライ、ジントン	23,700	6,400	2,500		
<b>&lt; 大洋州 &gt;</b>						
パプアニューギニア						
日本パプアニューギニア石油	クツフ、モラン、ゴヘ	41,900	1,900	700	26	
<b>&lt; カナダ &gt;</b>						
カナダ*4						
日本カナダ石油	シンクルード	241,800	12,100	12,100	284	
合 計	-	793,700	101,100	62,200	862	

- 注: 1. 新日本石油グループの石油開発事業は、新日本石油の100%子会社である新日本石油開発が統括している。  
 2. 2003年12月時点の確認埋蔵量および推定埋蔵量  
 3. マレーシア(セライ、ジントン・ガス田)の日産量は、各ガス田の生産開始日(セライ:6月9日、ジントン:8月31日)から9月末日までの生産量を1-9月の総日数で割った数値。  
 4. 合成原油

## <見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。